

公益法人奨学会募集状況一覧 (平成29年度実績)

この一覧は、平成29年度に本部奨学厚生課奨学チームで取り扱った公益法人奨学会の募集状況です。平成30年度の募集は、平成30年3月上旬から順次掲示する予定です。(この募集状況一覧と平成30年度の募集内容は異なる場合がありますので、最新の掲示で確認してください。)

公益法人奨学会の応募方法は次のようになっています。詳細については募集の掲示やホームページで確認してください。

(1) 学内選考を行う奨学会	学内選考で推薦者を決定し、大学から奨学会へ推薦します。 提出書類:「公益法人奨学会願書(内部選考用)」「希望奨学会申請票」 <u>家計の所得関係書類と成績証明書</u> の添付が必要です。 募集の掲示及び願書(内部選考用)の配付は平成30年3月上旬から行う予定です。
(2) その他の奨学会	上記以外の方法で応募するものです。 奨学会から募集要項が届き次第掲示します。応募方法・提出書類については募集の掲示で確認してください。
(3) 直接応募の奨学会	希望者が直接奨学会へ願書を提出します。 提出書類:奨学会が指定するもの 奨学会から募集要項が届き次第、掲示及び願書配付を行います。

教養学部、総合文化研究科、数理科学研究科については応募の取り扱いが異なりますので、教養学部学生課奨学資金係に問い合わせてください。(TEL 03 5454 6076)

平成29年度公益法人奨学会募集状況一覧

募集する奨学生は、下記出願条件と人物・学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。
 なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。
の付いている奨学会は、毎年対象の研究科・学部が変わります。

(1) 内部選考を行う奨学会

出願条件にある学部・研究科は年度により変わるものがあり、平成30年度の予定についても奨学会の依頼等により変更になる場合がありますのでご了承ください。詳細については募集時に最新情報を掲示で確認してください。

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額(円)	募集期
公益財団法人古河記念基金	課程 学部 学部 理、工、農(獣医学除く)、薬学部(6年制は除く)。ただし金属その他資源関係の学生を優先とする。 学年 3年生 その他 (1)日本国籍を有すること (2)学業成績や取得単位数が優秀であること (3)卒業までの進級が十分見込まれること (4)家計収入900万円以下(税込、年金収入および兄弟の収入は算入しない) 内部選考通過者は、財団による書類審査及び面接選考があります。(4月下旬) 支給期間 正規の最短修業年限迄(最長6年)	可	1	給与 30,000円	3月
公益財団法人石井記念証券研究振興財団	課程 学部 学部 法、経済 学年 3年生 その他 (1)金融・証券分野に関わる専門科目、あるいは会社法や金融商品取引法等の資本市場法に関する専門科目を履修する者。 (2)学業成績・人物ともに優秀な者。 (3)財団行事等には原則として出席可能な者。 内部選考通過者は、財団による書類審査及び面接選考があります。(日程は本人と調整) 支給期間 正規の最短修業年限迄(最長3年) ただし3年次の学業成績により1年間で給付を中止する場合がある。	可	1	給与 40,000円	3月
公益財団法人戸部真紀財団	課程 学部、修士 学年 学部3年生、修士1年生 学部 文学、経済、理学、工学、農学、薬学部 研究科 人文社会系、理学系、農学生命科学、薬学系研究科 その他 ・化学、食品科学、芸術学、体育学、経営学をのいずれかを専攻していること ・日本国籍を有すること、平成29年4月1日現在で30歳以下。 ・夏(H29 8/27,28予定)に開催される奨学生交流会に参加できる者。 給付期間 1年間	可	2	給与 50,000円 (ただし給与奨学金と併給の場合は25,000円)	3月
[成績・採用低] 公益信託松尾金蔵記念奨学基金	課程 修士、博士 研究科 人文社会系、教育学 <分野>文学、哲学(宗教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等の経・法を除く人文社会 学年 修士1年、博士1年 その他 (1)修士課程の応募者：家族の生計を支える者の前年度年収又は本年度の見込みが原則800万円(税込総収入)以下 博士課程の応募者：本人の前年度収入、又は本年度見込収入が原則250万(税込総収入)以下 (2)品行方正、健康で学業成績が優秀な者。 (3)平成29年4月1日現在の年齢が30歳以下の者。 給付期間 正規の最短修業年限まで(年度ごとに継続審査有り)	不可(日本学生支援機構含む)	2	給与 年額100万円 (6カ月ごと支給)	3月
公益財団法人日本証券奨学財団	課程 修士、博士、専門職学位課程 研究科 経済学研究科、法学政治学研究科 学年 1年 その他 (1)学資の援助が必要であると認められ、将来社会的に有益な活動を目指す者。 (2)大学院修士課程、専門職学位課程に在籍する者は平成29年3月末において25歳以下であること。 大学院博士課程1年に在籍する者は、平成29年3月末において28歳以下であること。 (3)内部選考通過者には財団による面接選考があります。 給付期間 正規の最短修業年限迄	不可(ただし日本学生支援機構は可)	2	給与 修士・専門職学位 50,000円(自宅外) 40,000円(自宅) 博士 55,000円(自宅外) 45,000円(自宅)	3月
[成績] 公益財団法人新日本奨学会	課程 学部 学部 工学部、理学部、法学部、経済学部、教育学部 学年 3年 その他 (1)学業成績、人物ともに優秀かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者。 本奨学会の選考は成績を重視します(目安:優が8割以上)。 (2)奨学会の行う懇親会や面接等に必ず出席できること 内部選考通過者には、5月27日(土)9:30~12:00の間に財団による面接があります。 (出席できない場合は推薦取消となります。) 給付期間 正規の最短修業年限まで	可	10	給与 50,000円	4月

<p>公益財団法人 住友電工グループ 社会貢献基金</p>	<p><課程>修士 <研究科>工学系、情報理工学系、新領域創成科学 <学年>修士1年 <その他> ・学業、人物ともに優れながら経済的理由により援助が必要と認められる者。 ・2017年4月現在、修士課程の1年次に在籍する者。 内部選考通過者には財団による面接選考があります。</p> <p><給付期間>2017年4月分より2019年3月分までの2年間(但し、2019年3月以前に修士課程を修了する場合は修了月とする)。</p>	<p>貸与のみ 可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>30,000円</p>	<p>4月</p>
<p>公益財団法人 中山報恩会</p>	<p>課程 学部、修士 学部・研究科 指定なし 学年 学部3年、修士1年 その他 (1)日本国籍を有する者。 (2)学部3年生23歳以下、修士1年生26歳未満 (3)過去に本奨学金を受給された者の再申請可 (4)内部選考に通過した場合6/8(木)または9(金)の財団による選考会に必ず出席できること 大学での留年が3年以上ある者、大学卒業または退学後2年以上社会人となり大学院に再入学した者は応募できません。</p> <p>給付(貸与)期間 正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可 (ただし日本学生 支援機構は 可)</p>	<p>11</p>	<p>給与+貸与</p>	<p>学部: 42,000円(貸与21,000円 + 給与21,000円) 院:50,000円(貸与 25,000円+ 給与25,000円)</p>	<p>4月</p>
<p>公益財団法人 オーディオテクニカ 奨学会</p>	<p>課程>学部 学部 工学部、理学部 学年 3年生、4年生 その他 (1)健康でかつ学業成績が優秀であり、経済的理由により学費の支弁が困難である者 (2)財団の主催する奨学生生活状況報告会(5月)、奨学生の集い(9月)に出席できること 内部選考通過者には財団による書類・小論文選考及び面接選考(5/30予定)があります。</p> <p>給付期間) 正規の最短修業年限迄</p>	<p>可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>20,000円</p>	<p>4月</p>
<p><u>「成績・採用低」</u> 公益財団法人 尚志社</p>	<p>課程 学部 学部 文学部、法学部、経済学部、教育学部 学年 学部3年生 その他 (1)学業成績が特に優秀な者 本奨学会の選考は成績を重視します。 (2)学部3年生25歳未満 (3)内部選考に通過した場合、6月17日(土)行われる財団による選考会に必ず出席できること。 (4)当該財団が定期的実施する社友懇談会(年1回)に必ず出席でき、また、受給期間通じて最低1回、機関誌「尚志」に必ず寄稿できる者 (5)家計基準が日本学生支援機構学部生向け第一種の家計基準<収入・所得の上限額の目安>を上回らないこと、本人(配偶者含む)に定職収入がある場合はそれを含める。</p> <p>給付期間 正規の最短年限まで</p>	<p>不可 (日本学生 支援機構 は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>○30,000円(自宅)/ 40,000円(自宅外) 学校納付金(授業料) の実費を限度に支給する</p>	<p>4月</p>
<p><u>「成績・採用低」</u> 公益財団法人 尚志社</p>	<p>課程 修士 学部 医学系、薬学系、新領域創成科学、情報理工学系研究科 学年 1年 その他 (1)学業成績が特に優秀な者 本奨学会の選考は成績を重視します。 (2)修士1年生30歳未満 (3)内部選考に通過した場合、6月17日(土)行われる財団による選考会に必ず出席できること。 (4)当該財団が定期的実施する社友懇談会(年1回)に必ず出席でき、また、受給期間通じて最低1回、機関誌「尚志」に必ず寄稿できる者 (5)家計基準が日本学生支援機構学部生向け第一種の家計基準<収入・所得の上限額の目安>を上回らないこと、本人(配偶者含む)に定職収入がある場合はそれを含める。</p> <p>給付期間 正規の最短年限まで</p>	<p>不可 (日本学生 支援機構 は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>○40,000円(自宅)/ 50,000円(自宅外) 学校納付金(授業料) の実費を限度に支給する</p>	<p>4月</p>
<p>公益財団法人 井植記念会</p>	<p><課程>博士 <研究科>理学系、工学系、情報理工学系、新領域(理工学系)、農学生命科学、医学系研究科 その他 ・兵庫県出身者 ・学業成績が優秀、かつ心身ともに健全で、将来において学術水準の向上、社会の進歩発展に著しく貢献し得る可能性が認められる者。</p> <p>採用された場合には、平成29年8月23日(水)に行われる奨学会本部(神戸市)での授与式に出席していただきます。 本奨学会の選考は、経済的困窮度よりも成績を重視します。</p> <p>給付期間 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>2</p>	<p>給与</p>	<p>50,000円</p>	<p>4月</p>
<p>MHIみらい奨学金 (三菱重工理系 女性技術者育成 支援奨学金)</p>	<p>課程 修士 研究科 理学系、工学系、情報理工学系、新領域創成科学 学年 修士1年 その他 (1)H29年4月現在で修士課程1年次に在籍する女子学生。 (2)化学・機械・電気・電子・原子力を専攻する者 (3)将来、理工系エンジニアとしてエネルギー・環境分野においてグローバルに活躍する意志のある者。 (4)修学の目的及び計画が明確で、支援の効果が期待できる者。 (5)真に経済的援助を必要とする者。</p> <p>給付期間 平成29年4月より平成31年3月までの2年間(ただし、大学における在籍期間中に限る)</p>	<p>不可(ただし貸与は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>120,000円</p>	<p>4月</p>

<p>[成績・採用低] 公益財団法人 吉田育英会 <マスター21> [予約採用]</p>	<p>課程 修士(予約) 学年 2017年秋季または2018年春季に修士課程(標準修業年限2年)入学を希望する者。 進学先大学院は東京大学でなくても構わない。 研究科 総合文化、理学系、工学系、農学生命科学、医学系、薬学系、数理学系、新領域創成科学、情報理工学系、学際情報学府 分野 自然科学系分野(上記研究科でも一部の分野は応募対象とならない) その他 (1)2017年4月1日現在東京大学学部4年次に在学しており、上記研究科へ進学予定の者。 (2)日本国籍を有する者 (3)27歳未満(2017年4月1日現在) (4)学業成績が優秀な者 本奨学会の選考は、経済的な困窮度よりも、成績を重視します。 (5)大学院進学のための意識を明確に持つ者 (6)成果の社会還元への志を有し、影響力を期待できる者 (7)リーダーとしての資質を有する者 内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。 第一次審査:書類選考 第二次審査:面接選考 2017年7月13,14日 実施予定 採用者が学校納付金を選択した場合、修士課程での入学料・授業料免除制度は受けられません。 給付期間 修士課程での2年間</p>	<p>給与:不可 貸与:可 学費を支給する奨学金との重複も不可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>月額8万円 または 修士課程での学校納付金(入学料・授業料)の実費(250万円を限度とする)</p>	<p>4月</p>
<p>公益信託 日新製糖奨学育英基金</p>	<p>課程 学部 学部 医学部、薬学部、理学部、工学部、農学部 学年 4年(4年課程)、6年(6年課程) その他 (1)東京都内に居住する者 (2)学業・人物ともに優秀かつ健康な学生 (3)経済的事情により修学の継続が困難と認められる者 採用が決定した場合には、7月上旬に「贈呈式」および「生活指導・激励のための懇親会」が開催予定ですので必ず出席してください。 給付期間 H29年7月(4月に遡って)～正規の最短修業年限迄</p>	<p>望ましくない (ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>30,000円</p>	<p>4月</p>
<p>公益財団法人 春秋育英会</p>	<p>課程 学部 学部 指定なし 学年 指定なし その他 (1)心身健全、学力優秀であり、経済的理由により修学困難である者。 (2)学部生は修了時の年齢が26歳を超えない者。 (3)保護者の年収が1千万円以下であること。 (4)日本在住の所定の保証人が得られる者。 給付(貸与)期間 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>2</p>	<p>給与+貸与</p>	<p>30,000円(20,000円給与+10,000円貸与)</p>	<p>4月</p>
<p>公益財団法人 三輪正人育英会</p>	<p>課程 修士 研究科 工学系、総合文化研究科、学際情報学府 研究科 理工系分野のみ 学年 1年 その他 日本国籍を有すること 過去に本奨学金を受給された者の再申請可 給付期間 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>2</p>	<p>給与</p>	<p>30,000円</p>	<p>4月</p>
<p>一般財団法人 野間文化財団</p>	<p>課程 修士 研究科 人文社会、教育、法政治学(専門職学位を除く)、経済、工学系、学際情報学府 学年 1年 その他 健康で学業に熱意がありながら、教育費不足の者。 推薦者には専攻している分野についての論文提出の必要があります。 財団による面接選考があります。 給付期間 平成29年6月～平成31年3月まで</p>	<p>可</p>	<p>2</p>	<p>給与</p>	<p>30,000円</p>	<p>4月</p>
<p>[採用低] 公益財団法人 中部奨学会</p>	<p>課程 学部、修士、博士 学年 指定なし 学部・研究科 指定なし その他 人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者 貸与/給付)期間 正規の最短修業年限まで 貸与の場合は、貸与終了後15年以内に完済の条件がございます。 採用率は非常に低いです。詳細は奨学チームまでご確認ください。</p>	<p>可</p>	<p>1</p>	<p>学部・修士: 貸与 博士: 給与</p>	<p>学部35,000円 修士60,000円 博士60,000円</p>	<p>4月</p>
<p>公益財団法人 みずほ育英会</p>	<p>課程 学部、修士、専門職学位、博士 学部・研究科 指定なし 学年 指定なし その他 (1)日本人学生。 (2)心身健全にして学業成績優秀な学生であり、経済的理由により修学困難な者。 (3)保護者の年収(目安)が900万円以下。 (4)奨学金は事務局にて直接交付。 5月中旬に面接が予定されています。 給付期間 正規の最短修業年限迄</p>	<p>不可 (ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>1</p>	<p>貸与</p>	<p>学部 50,000円 院 60,000円</p>	<p>4月</p>

公益財団法人 井上育英会	<p>課程 学部 学年 3年 学部 指定なし その他 (1)学業成績優秀、心身健全であって、将来国家社会の重要な役割を担うことができる資質と意欲をもつ者 (2)6/3(土)財団による選考会に出席できること 貸与期間 正規の最短修業年限まで</p>	可	2	貸与	自宅30,000円 自宅外35,000円	4月
〔成績・採用低〕 公益信託 岩井久雄記念 東京奨学育英基金	<p>課程 学部、修士、博士 学部 理、工、農(獣医を除く) 研究科 理学系、工学系、情報理工学系、農学生命科学、新領域創成科学、学際情報学府(理工系のみ) 学年 学部3年、修士1年、博士1年 その他 (1)日本人学生。 (2)学業成績、人物ともに優秀かつ健康であり、学費の支払いが容易ではない者。 最終学年までの2年間に在籍する者を対象とする。 本奨学会の選考は成績を重視します。 給付期間 正規の最短修業年限まで</p>	不可(ただし貸与は可)	4	給与	学部:100,000円 院:120,000円	4月
公益財団法人 味の素奨学会	<p>課程 学部、修士、博士 学部・研究科 工、理、農、薬学部 工学系、理学系、農学生命科学、薬学系、新領域創成科学研究科 (化学をはじめとする理系全般を専攻) 学年 学部3、4年。修士、博士は指定なし。 その他 成績抜群にして身体強健、志操堅固な者 貸与期間 正規の最短修業年限まで 昨年度より、本奨学金を貸与された方の中で、大学院(修士・博士)へ進学を目指す女性の方を対象に奨学金の返還免除制度が新設されました。</p>	可	2	貸与	学部自宅30,000円 自宅外35,000円 院自宅40,000円 自宅外45,000円	4月
公益財団法人 三菱UFJ信託奨学財団	<p>課程 修士、博士、専門職学位 研究科 法政治学、経済学、農学系、新領域創成科学、公共政策 学年 修士・博士・専門職学位課程 指定なし その他 (1)財団主催行事への出席を優先できる者。 採用後に年に1度財団職員との面談や交流会があります。 (2)最短修業年限までの給付期間が1年以上見込まれること。 (3)平成29年4月1日現在、大学生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること。 (4)健康で、学業成績、人物ともに優れている者で、学費の支弁が困難と認められる者 (5)父母の税込年収合計800万円未満。ただし、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合、税込年収1千万円未満を目処とする) (6)将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。 (7)原則として社会人入学者を除く。 支給期間 正規の最短修業年限迄</p>	可(ただしその内容を届け出ること)	2	給与	55,000円	4月
公益財団法人 日揮・実吉奨学会	<p>課程 学部、修士、博士 学部 理、工、農(獣医含む) 研究科 情報理工学系、農学生命科学、新領域創成科学 学年 学部3、4年生、修士、博士 その他 (1)日本国籍を有する者 (2)申請時の年齢が満30歳未満であること (3)日本学術振興会特別研究員採用者でないこと (4)過去に日揮・実吉奨学会から奨学金の給付を受けた者は再申請不可。 給付期間 1年間(年一括)</p>	可	7	給与	年額300,000円	4～5月
公益財団法人 川村育英会	<p>課程 修士 学年 1年 研究科 理学系、新領域、工学系、情報理工学系 (有機化学、有機合成、高分子化学、高分子合成、無機化学、光化学、触媒化学、計算化学、液晶、界面化学、物理化学、生物化学、材料化学、分析化学、画像化学、化学工学などの化学系を専攻) その他 ・生計を同一にする家族の年間収入が500万円以下 ・成績証明書における優の割合が50%以上 給付期間 2017年8月から正規の最短修業年限まで 採用された場合には、平成29年8月28日(月)に行われる授与式に出席していただきます。</p>	可	1	給与	60,000円	4～5月
一般財団法人 小堀雄久 学生等支援会	<p>課程 学部、修士 学年 学部:3、4年生、修士:1、2年 学部 工学部、理学部、農学部、薬学部 研究科 工学系、情報理工学系、理学系、農学系、薬学系、新領域、学際情報学府(理工系) その他 愛国心に富み、古風ながら、仁・義・礼を尊び、学業に勤しむ者で、経済的理由により学資の援助を必要とするもの。但し、家計扶養者の年間収入は、1000万円以下であること。 奨学生に採用された者は、財団の求めに応じて学業成績表を提出すること。</p>	可	2	貸与	40,000円	4～5月

<p>【成績】 公益財団法人 岩垂奨学会</p>	<p>課程 修士、博士、専門職学位 学年 指定なし 研究科 理学系、工学系、情報理工学系、医学系、薬学系、新領域創成科学(理工医薬系分野) その他 日本人学生。学力優秀(学部の専門科目の成績が2.3以上*)、健康、志操堅固で学資支弁の困難な者。 *数値の換算方法:(優×3+良×2+可×1)/(優+良+可)</p> <p>下記の者は申込みできません。 ・留年者 ・10月入学等で今年度途中修了する者。 ・過去に岩垂奨学会から奨学金の給付を受けていた者。</p> <p>奨学生に採用された者は学年末(1月頃)に研究経過報告書及び生活状況報告書の提出が必要です。</p> <p>給付期間 平成29年4月～平成30年3月</p>	可	24	給与	年額約60万円	5月
<p>一般社団法人 大学女性協会 採用率は非常に低い です。</p>	<p>一般奨学生 課程 修士、専門職学位、博士 学年 修士、専門職学位2年次以上(各課程とも1年以上在籍していること)、博士は学年不問(博士4年課程は2年次以上) その他 学業人物ともに優れた女子学生</p> <p>社会福祉 課程 学部、修士、専門職学位、博士 学年 学部、修士、専門職学位2年次以上(各課程とも1年以上在籍していること)、博士は学年不問 その他 身体に障害があり、かつ学業人物ともに優れた女子学生</p> <p>安井医学 課程 修士、専門職学位、博士 学年 修士、専門職学位2年次以上(各課程とも1年以上在籍していること)、博士は学年不問(博士4年課程は2年次以上) 研究科 医学系、薬学系 その他 学業人物ともに優れた女子学生</p> <p>給付期間 1年限り 過去に大学女性協会からの奨学金を授与された者は、再応募することができない。</p>	可		給与	<p>一般奨学生 大学院 年額20万円</p> <p>社会福祉奨学生 学部 年額10万円 大学院 年額20万円</p> <p>安井医学奨学生 大学院 年額30万円</p>	7月

(2) その他の奨学会

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額	募集期
<p>【成績・採用低】 公益財団法人 吉田育英会 <ドクター21> 【予約採用】</p>	<p>課程 博士(予約) 学年 2017年秋季または2018年春季に大学院博士課程(標準修業年限3年)に進学を希望する者。進学先大学院は東京大学大学院でなくても構わない。 研究科 総合文化、理学系、工学系、農学生命科学、医学系*、薬学系*、数理学系、新領域創成科学、情報理工学系、学際情報学府 *4年課程は対象外 分野 自然科学系 その他 ・2017年4月現在東京大学大学院修士課程2年次に在学していること。 ・30歳未満(2017年4月1日現在)。 ・学術研究のレベルが高い者。 本奨学会の選考は、経済的な困窮度よりも、成績を重視します。 ・当会奨学金受給を第一志望とする者が望ましい。 内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。 第一次審査:書類選考 第二次審査:面接選考 2017年6月7,8日 実施予定 応募者によるプレゼンテーションを含む。 この奨学金は大学院博士課程への進学希望者に、博士課程での学校納付金の同額を給与する奨学金です。 採用になった場合、博士課程での入学科・授業料免除制度は受けられません。 給与期間 博士課程での3年間 出願には内部選考書類とともに最新の成績証明書(学部4年間分と修士課程)が必要。</p>	<p>給与:不可 貸与:可 学費を支給する奨学金との重複は不可</p>	0	<p>給与</p> <p>月額20万円 博士課程での学校納付金*として250万円以内の実費 (*入学科・授業料・施設費・実験研究費等の名目で大学に半期または1年毎に納付する費用を含む。学校納付金の枠内で国内の学会発表の参加費を受けることができる) 海外研究活動支援として100万円以内の実費 海外の大学及び研究機関との往来、短期留学、海外研修/学会への参加等の交通費、宿泊費、学会参加登録費等</p>	2月
<p>公益財団法人 松藤奨学育成基金</p>	<p>課程 学部 学部 指定なし 学年 指定なし その他 長崎県内に住所を有する者の子弟で次に該当する者。 (1)交通事故によって家計の支持者または保護者が死亡するか、または当該事故に起因する重度の後遺障害のため、就業不能となった結果、経済的に支障が生じ、就学の継続もしくは上級学校への進学が困難となった者。 (2)(1)以外で、向上心に富み、有能な資質を持ちながら、家庭の経済的理由によって、就学の継続が著しく困難である者。 給付期間 正規の最短修業年限迄</p>	可	-	貸与 42,000円	2月
<p>公益財団法人 同盟育成会</p>	<p>【学部】 課程 学部(4年制課程) 学年 平成29年4月に3年生に進級する者 学部 指定なし その他 次のすべてを満たしていること ・ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指している者。 ・志操堅固、健康優良で、成績優秀な者。 ・学費の援助が必要と認められる者。 給付期間 正規の最短修業年限まで(最長2年間) 希望者には「ジャーナリストの志望動機」もしくは「ジャーナリズム、マスコミに関する意見、主張」というテーマで作文を提出いただきます。 【大学院】 課程 修士 学年 平成29年4月に修士1年生に進学する者 研究科 指定なし その他 次のすべてを満たしていること ・ジャーナリズム・マスコミ関係の研究に従事する者、またはジャーナリストを目指している者。 ・志操堅固、健康優良で、成績優秀な者。 ・学費の援助が必要と認められる者。 給付期間 正規の最短修業年限まで(最長2年間) 希望者には「大学院進学のための目的および修士課程で予定している研究テーマ」について1,000字程度のレポートを提出いただきます。</p>	可	1	給与 学部: 月額3万円 大学院: 月額5万円	2月
<p>一般財団法人 大森昌三記念財団</p>	<p>課程 学部、修士、博士 学年 平成29年4月現在学部3年生以上、あるいは修士・博士課程に在学する者 学部・研究科 指定なし その他 次のすべてを満たしていること ・もの作りに携わり、技術の向上及びもの作りに関する研究を行う者。 ・平成29年4月2日時点で、学部生は満23歳以下、大学院生は満33歳以下であること。 ・健康で、学業成績・人柄ともに優れている者。 ・学費の支弁が困難と認められる者。 給付期間 正規の最短修業年限まで 採用数は非常に少ないです。 面接あり。</p>	可	2	給与 30,000円	3月

<p>公益財団法人 フジシール パッケージング 教育振興財団</p>	<p>課程 学部、修士 学部 工学部、理学部 研究科 工学系、情報理工学系、理学系、新領域創成科学 学部・修士とも応用化学[プラスチック製品]、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係を学んでいる者。 学年 学部3年生、修士1年生 その他 学業優秀で、パッケージングに興味・関心があり、チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つ者 給付期間 正規の最短修業年限まで 財団願書にはレポートが含まれます。 奨学生は年に1~2回の研究会への出席が義務づけられているほか、報告書・レポートや制作物の提出を求められる場合があります(年4回程度)。応募を希望される場合は、学業への支障等がないよう充分考慮してください。</p>	<p>不可(ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>学部3年生 50,000円 修士1年生 60,000円</p>	<p>3月</p>
<p>公益財団法人 浦上奨学会(特別)</p>	<p>課程 学部(4年課程) 学部 指定なし 学年 指定なし その他) (1)2011年3月の東日本大震災による災害救助法適用地域に実家があり、学費や生活費を払う両親が被災したり、家屋が倒壊するなどして、経済的理由により就学・修学が困難な者。 (2)心身ともに健康であり、品行方正で学習意欲が高い者。 給付期間 正規の最短修業年限迄</p>	<p>不可(ただし貸与は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>月額10万円</p>	<p>3月</p>
<p>一般財団法人 モリタニ 守谷育英会</p>	<p>学部・大学院:学業、人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者。 支給期間:正規の最短修業年限迄 書類選考通過者は、6/21(水)~23(金)に面接選考があります。 推薦書は指導教員により全文内筆にて、推薦内容については詳細に記載いただくこと、サインのみ肉筆のものは認められません。(指導教員の先生のご都合等を含め、ご負担にならないよう事前によくご相談のうえ出願ください。) 採用率は極めて厳しいです(例年100名ほどの応募で採用は1名あるかないか)。</p>	<p>可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>100,000円</p>	<p>3月</p>
<p>一般財団法人 山根奨学基金</p>	<p>課程 学部、修士、博士、専門職学位 学部・研究科 指定なし 学年 学部3年生以上。大学院は指定なし。 その他) (1)日本人女性 (2)学業・人物ともに優秀であり、かつ山根奨学基金設立の趣旨に合致すると認められる学生。 給付期間 1年間(年一括) 推薦者は、7月29日(土)午後(予定)に基金による面接選考があります。 一般財団法人山根奨学基金について 日本初の女性外交官として、日本および諸外国の人々からも、その将来に大きな期待をかけられながら惜しくも飛行機事故の犠牲となった山根敏子さんを記念して設立されました。この奨学基金は、山根さんの遺志を継ぐ女子学生のうち、特に国際問題に関心を持つと同時に将来、世界人類の平和と幸福に貢献するため、国際社会において活躍する意思と情熱を持つ女性を育成し、その勉学の一助となること目的として設立されたものです。</p>	<p>可</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>年額30万円</p>	<p>4月</p>
<p>公益財団法人 信濃育英会</p>	<p>学部:学部の3,4年生で以下の条件に該当する者 ボランティア等(福祉・教育・文化・スポーツ・国際交流・環境保護等の公益的活動)を通じて明るい社会に貢献している者 この奨学金はボランティア等の活動実績を条件としているので、内部選考用願書にはボランティア活動の内容を具体的に記入してください。 なお、推薦が決定した者は信濃育英会へ活動体験文(社会的貢献活動の内容を2000字以内で具体的に記入)、活動体験・実績を証明するもの(写真等)の提出が必要。 一度、本奨学金を授与された方は、再応募できません。 採用率は非常に低いです(近年の採用実績なし)。</p>	<p>可</p>	<p>-</p>	<p>給与</p>	<p>10万円(1回限り)</p>	<p>6月</p>
<p>公益財団法人 信濃育英会</p>	<p><対象> 学部学生を構成員とした以下の条件に該当する学生グループ(団体) 現在ボランティア等(福祉・教育・文化・スポーツ・国際交流・環境保護等の公益的活動)を通じて明るい社会に貢献している学生グループ(団体) 信濃育英会へ活動体験文(社会的貢献活動の内容を2000字以内で具体的に記入)、活動体験・実績を証明するもの(写真等)の提出が必要。 グループの顧問の先生等からの推薦書が必要。 採用率は非常に低いです(近年の採用実績なし)。</p>	<p>可</p>	<p>-</p>	<p>給与</p>	<p>30万円(1回限り)</p>	<p>6月</p>

<p>一般社団法人 大学女性協会</p>	<p>課程 学部 学年 3年 研究科 指定なし その他 企業、官公庁などで2年以上の就労を経て、現在大学で勉学中の意欲あふれる女子学生。 給与期間 1回限り。 奨学金を支給された場合は、卒業後3ヶ月以内に勉学の概要と現況を大学女性協会東京支部に提出すること。</p>	<p>可</p>	<p>-</p>	<p>給与</p>	<p>年額20万円</p>	<p>7月</p>
<p>公益財団法人 帝人奨学会 【予約採用】</p>	<p>課程 博士(予約) 学年 2017年9月または2018年4月進学決定者(見込みも可) 研究科 理学系、工学系、農学生命科学、医学系、薬学系、新領域創成科学、情報理工学系研究科、学際情報学府、総合文化研究科、数理科学研究科 分野 工・理工学系、医学・薬学系、情報学系、バイオ学系 対象研究科であっても上記分野以外を専攻する者は応募できません。 大学から推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。 第一次選考:書類選考 第二次選考:専門面接(10月下旬～11月中旬に実施) 最終選考:選考委員による面接 12/7(木)に実施 卒業後、帝人奨学会指定の大学研究機関等(日本学生支援機構が指定した機関に準ずる)で学術研究活動に貸与期間の2倍の期間従事した場合には、返還が免除されます。 貸与期間 2018年4月～正規の最短修業年限まで(2017年9月入学者も同様)</p>	<p>可</p>	<p>-</p>	<p>貸与</p>	<p>100,000円</p>	<p>8月</p>
<p>公益財団法人 林シオロジー 記念財団</p>	<p>課程 学部、修士 学年 平成30年4月に大学3年、もしくは4年に進級する者、または修士課程の1年に進学を希望する者、もしくは修士課程2年に進級する者、留年者を除く。 学部・研究科 理学部・工学部・農学部・薬学部(進学予定者を含む)、理学系・工学系・農学生命科学・医学系・薬学系・新領域創成科学・情報理工学系研究科・学際情報学府・総合文化研究科・数理科学研究科 分野 理学・工学系(機械・精密・システム工学・IT技術等)もしくは農水産系・生命科学系で「食品産業に関する」学問を習得又は学術研究を志す者。 応募者は課題小論文(A「科学技術の発展と未来について」もしくはB「世界の食料生産の進歩と未来について」)を提出。 前年度応募者および前年度奨学生であっても、応募資格を有する。 給付期間 学部4年、修士2年に進級する者 平成30年4月1日～平成31年3月31日 学部3年、修士1年に進級する者 平成30年4月1日～平成32年3月31日</p>	<p>可</p>	<p>-</p>	<p>給与</p>	<p>修士 月額50,000円 学部 月額30,000円</p>	<p>9月</p>
<p>公益財団法人 浦上奨学会</p>	<p>課程 修士(予約)、博士(予約) 学年 2018年4月入学(進学)予定者 研究科 指定なし その他 広島県出身者 貸与期間 正規の最短修業年限まで 最短修業年限で修了した場合は、奨学金の返還が半額免除されます。</p>	<p>可</p>	<p>-</p>	<p>貸与</p>	<p>5万・ 6万・ 7万・ 8万円 から選択</p>	<p>9月</p>
<p>帝人奨学会 【修士】</p>	<p>課程 修士 学年 2017年9月または2018年4月進学決定者(見込みも可) 研究科 理学系、工学系、農学生命科学、医学系、薬学系、新領域創成科学、情報理工学系研究科、学際情報学府 分野 医学・薬学系、バイオ学系(バイオ、生物、環境等)、理工学系(化学、物理、数学、材料等)、工学系(電気・電子工学、機械等)、情報学系(情報システム、電子システム等) その他 第一次選考:書類選考 第二次選考:専門面接(5月上旬～中旬に実施) 最終選考:選考委員による面接(6月6日(水)に実施) 卒業後、帝人奨学会指定の大学研究機関等(日本学生支援機構が指定した機関に準ずる)で学術研究活動に所定期間(貸与期間の2倍)従事した場合には、返還が免除されます。 貸与期間 2018年4月～正規の最短修業年限まで(2017年9月入学者も同様)</p>	<p>可</p>	<p>-</p>	<p>貸与</p>	<p>80,000円</p>	<p>1月</p>

(3) 直接応募の奨学会募集について 奨学チームに案内があったもののみを記載しています。

詳細等については、募集通知あるいは財団へ直接確認してください。

奨学会名
公益財団法人 朝鮮奨学会
公益信託 池田育英会トラスト
公益財団法人 似鳥国際奨学財団
公益財団法人 芸備協会
公益財団法人 本庄国際奨学財団 日本人大学院生奨学金
一般財団法人 野島財団
公益財団法人 清川秋夫育英奨学財団
一般財団法人 鷹野学術振興財団
あしなが育英会
公益財団法人 交通遺児育英会
在日本朝鮮人教育会
公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団
公益財団法人 サントリー生命科学財団
社会福祉法人 さぼくと21
国際ゾンタ
一般財団法人 高久国際奨学財団
株式会社 フィックスターズ
公益財団法人 東京弁護士会育英財団
公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団